

6月30日 地震にそなえる

先週の土曜日、2時間目に道徳の授業参観がありました。4時間目には引き取り訓練がありました。その間の3時間目、皆さんは普通の授業をしていましたが、体育館ではおうちの人が向のお話会、勉強会がありました。はじめはそのお話をします。

30年前に「阪神淡路大震災」という大きな地震がありました。このお話会の先生、井上敬子さんは、この阪神淡路大震災を経験され、その時のお話をしてくれました。

朝の、5時46分、大きな地震は突然起こりました。立ってられないような揺れが起こりました。井上さんのお父さん、お母さんの住んでいたお家は崩れてしまったとのことですが、幸いみんな無事だったそうです。でも、近くに住んでいた人の中には命を落としてしまった人もいたとのこと、改めて地震の怖さを感じました。

井上さんは、その経験から「今、地震が起きたらどうするか」ということを考えてくださいということをお話しされていました。とても大切なことですね。

では、次にいつ、大きな地震が起こるのでしょうか。最近「〇月〇日に大きな地震が起こる」という噂が広がっているようです。でも、この情報は、うそです。〇月〇日に地震が起こるという予知は、科学的に不可能です。

地震は、地面の下、何キロメートルも深い所で起こっています。地震学者は、そこで何が起きているのか必死に調べて研究していますが、広すぎて、深すぎて、直接見ることもできないことから、地震が「いつ」「どこで」「どのくらいの大きさで」起こるかをぴったり当てることはできません。みなさんの中にも、「〇月〇日に大きな地震が起こるんだって」という話をしている人がいるかもしれませんが、嘘を広めていることになりまますので、絶対にそういうことをしてはいけません。聞いても信じたり、他の人に話したりしてはいけません。

でも、この話の難しい所は、「〇月〇日に絶対に大きな地震が起きない」と言い切れるかということ、そうではないということなのです。それはなぜかということ、地震は、いつ起こるか分からないからです。30年前の阪神淡路大震災も、14年前の東日本大震災も、大きな地震は突然起こりました。だからこそ、嘘の噂をもとに心配するのではなく、井上さんがお話しされていたように、「今、地震が起きたらどうするか」ということを、地震が起きていない今のうちから考えておくことが大切なのだと思います。

引き取り訓練の前にもお話ししましたが、「今、地震が起きたらどうするか」ということをおうちの人とぜひ話し合ってください。



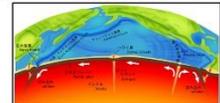
井上敬子さん



阪神淡路大震災



地震... 地下何キロメートルも深い所で起こります



「いつ」「どこで」「どのくらいの大きさで」起こるかをぴったり当てることは、できません。

〇月〇日に、大きな地震がある → うそ

〇月〇日に、絶対に大きな地震 → ないとは言い切れない
はない

地震
↓
いつ起こるか
わからない